



ADRC Highlights

Vol.119

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

1 July 2005

➤ アジア防災センターと中国の防災面における連携

□ 都市防災に関する国際フォーラムの開催

2005年5月25、26日の2日間、中国・北京市の21世紀ホテルにおいて、都市防災に関する国際フォーラムが開催され、民政部救災救済司(=救災救済局)や国家地震局、気象局など中国国内の防災担当行政官など計150名以上が参加し、アジア防災センター(ADRC)からも研究員の河内が参加しました。

当フォーラムは、中国第8回科学技術博覧会のテーマの一つである「防災と危機管理」のイベントとして開催されたもので、(1)防災関連機関における防災・減災の意識と対応能力の向上、(2)災害に対する都市基盤の強化、(3)関係者間の連絡と連携の強化を目的に、発表・討議が行われました。

当センターの河内は、ADRCが国連人道問題調整事務所(UN/OCHA)神戸とともに普及・啓発を進めている総合的な防災政策(TDRM)についてその重要性和都市防災における優良事例の紹介を行いました。また、2005年1月兵庫県で開催された国連防災世界会議におけるADRCの取組みについて紹介しました。



□ 防災面での日中間協力に関する会合の開催

上記フォーラムに続き、5月26日、北京市内の清華大学にて、防災面での日中間協力に関する会合が開催され、中国側からは民政部救災救済局や国家地震局などの防災担当行政官、国務院発展研究センターや清華大学公共管理学院などの研究者が、日本側からは、在北京日本大使館、神戸市危機管理室、独立行政法人国際協力機構(JICA)北京事務所など、双方計35名が出席し、当センター(ADRC)からも研究員の河内が参加しました。

この会合は、清華大学公共管理学院応急管理研究センター及び中国太平洋経済協力全国委員会人的資源開発委員会(中国外務省が所管するAPECに関連する外郭団体)の共催により開催されたものです。



まず、清華大学公共管理学院応急管理研究センターの顧林生(グー・リーシェン)研究員より、中国の国際防災活動と国内の緊急援助状況について発表がありました。また、中国国家減災センターの職員であり、ADRCの元外国人客員研究員でもある袁芸(ユアン・イー)研究員からは、中国民政部による防災の取組み状況について発表がありました。

続いて、日中の防災に関する国際協力のあり方についてディスカッションが行われ、技術協力と人材育成の手法や都市防災における優良事例や経験・教訓について、各出席者間で活発に意見が交わされました。最後に、防災機関や学術研究団体によるこのような会合は、意見交換・知識共有を通して災害被害の軽減につながることから、今後も対話を継続することとし、日中間の防災協力関係を推進できるような共同プロジェクトの検討を始めていくことで意見が一致し、閉会しました。

なお、この件に関しましては、当センター研究員の河内(kochi@adrc.or.jp)までお願いします。

➤ アジア最新災害情報

□ 中国での水害

2005年に入っても、中国各地では豪雨に伴う洪水や土石流などの災害が相次いで発生しており、2005年6月24日の中国民政部発表によると、同月中旬からの大雨の結果、浙江省、福建省、江西省、湖南省、広東省、広西チワン族自治区の6つの省や地区で大規模な洪水、地滑り、土砂崩れが相次いでいます。同部によると、2005年の水害による死者数は567人に達し、行方不明者は165人にも上っています。また、150万人以上が緊急避難し、被災者数の総計も4400万人を超えています。中国全土における直接的な経済損失は、約230億元、日本円にして約3000億円(1中国元を13日本円と換算)と推計されており、この被害額は、1990年代の年平均を超えるものです。

とりわけ、江西省および広東省、広西チワン族自治区の3省では、災害被害が過去最悪のものとなっており、広西チワン族自治区梧州では、市中心部を流れる河川が平常時よりも水面が27m上昇し氾濫、建物の多くが浸水し、鉄道など交通機関も寸断されました。

また、6月10日には、東北部の黒竜江省 Shalan で洪水が発生し、小学校が土石流に巻き込まれ児童105人を含む117名が犠牲となりました。

このような被害拡大に対して中国民政部は、緊急応急計画を発動し、被災地へ救助チームを派遣しました。また、財務当局との協議の結果、約330億円の緊急予算を組み、被災各省に1万8千組のテントを発出しました。

なお、これについては、当センターホームページの最新災害情報 www.adrc.or.jp をご覧ください。GLIDE番号は、FF-2005-000081-CHN となっています。

If you have comments or requests for this Newsletter, please write to ADRC at the address on the right.

Published by : Asian Disaster Reduction Center (ADRC)
Hitomiraikan 1-5-2-5F, WAKIHAMAKAIGAN-DORI, CHUO-KU, KOBE
651-0073, JAPAN E-mail: editor@adrc.or.jp Phone:+81-78-262-5540